

(2) 幼保一元化に向けた取り組みについて

1 市のあゆみ

島田市では、これまで待機児童対策に重点的に取り組んできており、幼稚園からの認定こども園化を推進することで、保育定員の増加を目指してきた。その結果、各方面の関係者の御協力のもと、平成30年4月に待機児童ゼロを達成することができた。ただし、待機児童については、今後も状況を注視していく必要がある。

2 趣旨

待機児童については一定の成果が出たが、一方で現在保育所に通っている子どもについては、保護者の離職などにより、保育の必要性がなくなった場合は退園しなければならないため、転園等による子どもの心理状態等を考慮すると好ましい状況とは言えない。

については、第二期子ども・子育て支援事業計画における検討をしていく中で、幼保一元化の取り組みを進めていきたいと考えている。

3 具体的な取り組み

保護者の就労状況に関わらず、通い慣れた園を継続して利用し、教育・保育を一緒に受けられ、卒園できるように、幼稚園ばかりでなく保育所にも認定こども園化を促していきたい。

《参考》

平成27年度から施行された「子ども・子育て支援新制度」において、幼稚園・保育所に加えて、「認定こども園」の普及を図ることとされた。

認定こども園のポイントとして、

- ・保護者の働いている状況に関わりなく、3～5歳のどのお子さんも、教育・保育を一緒に受けます。
- ・保護者が働かなくなったなど、就労状況が変わった場合も、通い慣れた園を継続して利用できます。
- ・子育て支援の場が用意されていて、園に通っていない子どものご家庭も、子育て相談や親子の交流の場などに参加できます。

とされている。（「子ども・子育て支援新制度なるほどBOOK」より）